

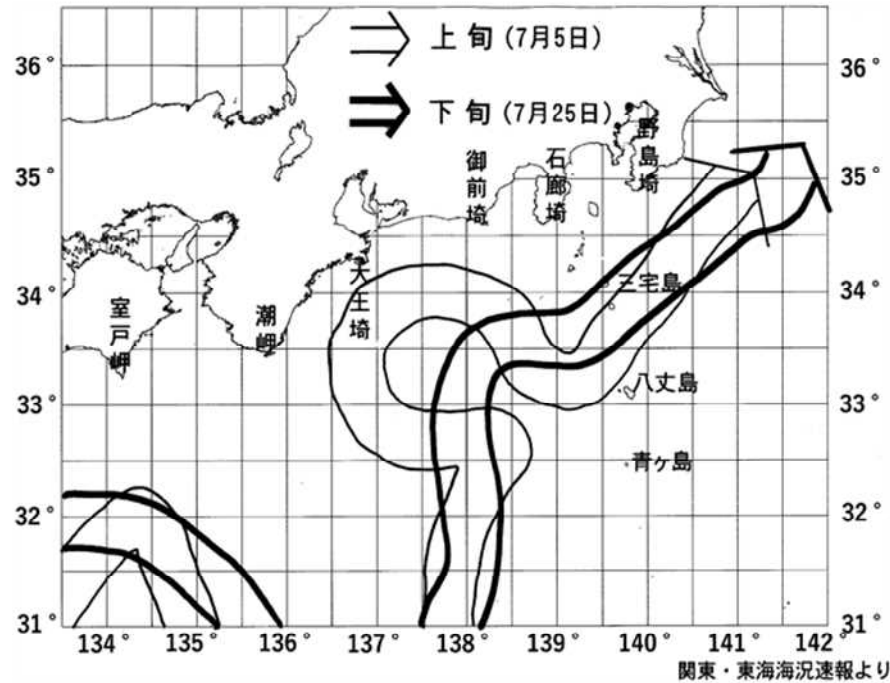
漁海況月報

令和5年7月1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



7月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	23.2	21.1	21.9	22.9	23.7	22.3
	1.2	0.1	1.2	0.3	0.4	-0.5
中旬	22.9	20.8	21.5	23.8	25.5	23.2
	0.1	-1.2	0.0	0.0	1.2	-0.6
下旬	25.5	24.3	24.3	26.4	27.0	26.6
	1.4	1.2	1.4	1.6	1.7	1.5
月	23.9	21.9	22.6	24.4	25.5	23.8
	0.9	-0.1	0.8	0.6	1.1	-0.1

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

7月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は遠州灘沖まで、中旬は石廊崎沖まで、下旬は御前崎沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖29.5°N付近から熊野灘沖~遠州灘沖34.0°NにかけてS字

状に北上した後東進し、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖29.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後、八丈島付近を通過しながら南南東に進み、32.0°N、141.5°E付近から北上し流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.0°N付近から御前崎沖33.5°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬の水温は焼津で「やや低め」、稲取、雲見、沼津で「平年並」、伊東、下田で「やや高め」であった。中旬は稲取、焼津で「やや低め」、伊東、下田、雲見で「平年並」、沼津で「やや高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田で「やや高め」、雲見、沼津、焼津で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は115.2トンで前年同月(52.5トン)の2.2倍であった。平均単価は383円/kgで前年同月(592円/kg)を下回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長48cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年7月上旬	31.4	11	2.9	406
中旬	33.8	14	2.4	367
下旬	50.0	21	2.4	380
R5年7月計	115.2	46	2.5	383
R4年7月計	52.5	17	3.1	592
R3年7月計	165.4	31	5.3	212

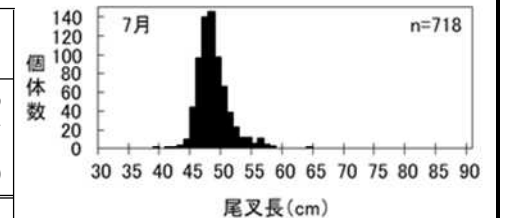


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は245.2トンで、前年(208.9トン)の1.2倍、平年(285.8トン)の86%であった。また、1か統当たりの水揚量は35.0トン(前年:29.8トン、平年:40.8トン)であった。水揚量の多い漁場は、川奈漁場(71.1トン、さば類、マアジ、クサヤモロ)、次いで北川漁場(65.5トン、さば類、ヤマトカマス、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、さば類は159.4トンで、前年比1.5倍、平年比1.5倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは1.2トンで、前年比2.4倍、平年比13%であった。ゴマサバは158.3トンで、前年比1.5倍、平年比1.6倍であった。さばっこ銘柄(マサバ、ゴマサバ当歳魚)は3.3トンで、前年比7.3倍、平年比55%であった。マアジは35.5トンで、前年比1.0倍、平年比1.4倍であった。なお、じんだ銘柄は11.9トンで前年比698.4倍、平年比1.2倍と引き続き好調であった。ヤマトカマスは6.5トンで、前年比4.2倍、平年比2.1倍であった。クサヤモロは3.8トンで、前年比6.5倍、平年比9.5倍であった。マイワシは2.3トンで、前年比15%、平年比6%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では北川漁場が37%(58.7トン)、川奈漁場が33%(53.1トン)、マアジでは伊豆山漁場が30%(10.5トン)、谷津漁場が27%(9.4トン)、川奈漁場が26%(9.3トン)、ヤマトカマスでは北川漁場が48%(3.1トン)、伊豆山漁場が25%(1.6トン)、クサヤモロでは赤沢漁場が52%(2.0トン)、川奈漁場が25%(1.0トン)、北川漁場が20%(0.8トン)、マイワシでは伊豆山漁場が83%(1.9トン)、古網漁場が17%(0.4トン)であった。

* 平年：昭和57年～令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	159.4	1.50	1.53	北川、川奈
マアジ	35.5	1.04	1.44	伊豆山、谷津、川奈
ヤマトカマス	6.5	4.16	2.06	北川、伊豆山
クサヤモロ	3.8	6.47	9.46	赤沢、川奈、北川
マイワシ	2.3	0.15	0.06	伊豆山、古網

【サバたもすくい】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は上旬は利島、中旬はひょうたん瀬、下旬は御前崎沖に形成された。水揚量はゴマサバ10トン(前年同月3%)であり、1隻当たり水揚量はゴマサバ2トン(前年同月15%)であった。

1kg当たり平均単価はゴマサバ(175円)は前月(180円)を下回り、前年同月(151円)を大きく上回った。

ゴマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年7月上旬	-	7	2	2	-	3.3	-	180	利島
中旬	-	2	1	1	-	1.5	-	173	ひょうたん瀬
下旬	-	2	2	2	-	1.0	-	158	御前崎沖
R5年7月計	-	10	5	5	-	2.0	-	175	利島
R4年7月計	-	366	16	28	-	13.1	-	151	大島千波
R3年7月計	-	77	6	10	-	7.7	-	123	ひょうたん瀬

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当たりの水揚量は、駿河湾(用宗、吉田)が192kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が232kgであった。平均水揚量は209kgで前年同月(142kg)の147.5%、平年同月(過去5か年平均:322kg)の69.4%であった。また、総水揚量は273.9トンで前年同月(175.6トン)の156.0%、平年同期(538.5トン)の50.9%で前年を上回ったが、平年を下回った。平均単価は1,761円/kgで前年同月(1,226円/kg)の143.6%、平年同月(915円/kg)の192.4%で前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	15.5	7	59	263	1,324
	舞阪	64.3	8	258	249	1,711
	福田	25.5	7	135	189	1,940
	御前崎	27.1	12	119	228	1,576
駿河湾	吉田	77.7	14	363	214	1,790
	用宗	63.8	19	374	171	1,888
R5年7月計	273.9	67	1,308	209	1,761	
R4年7月計	175.6	67	1,237	142	1,226	
R3年7月計	677.8	111	2,460	276	823	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、沼津港では140.6トン(前年同月245%、平年同月比263%)、小川港では0.01トン(前年同月比0.05%、平年同月比0.1%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、小川港では0.002トン(前年水揚げなし、平年同月比0.03%)、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは2.3トン、カタクチイワシは0.9トンであった。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

7月3日	～	7月5日	地先定線観測調査	(3日間)
7月7日			水質調査	(1日間)
7月11日	～	7月12日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
7月13日	～	7月14日	BISHOP 深海採水調査	(2日間)
7月18日	～	7月20日	さば類標識放流及び音響調査	(3日間)
7月24日	～	7月25日	キンメダイ親魚採捕調査	(2日間)
7月26日	～	7月27日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

